

## PROUSION 配合クリームによるトリートメントは ストレス・コントロールを為し得るか

橋本 政和<sup>1)</sup>、池田 真徠<sup>2)</sup>、榊 信一<sup>3)</sup>

1) NPO 法人 日本健康事業促進協会

2) プロビス整体研究会 東京

3) プロビス整体研究会 名古屋

### 【目的】

PROUSION 配合製品は、末梢血流改善効果を持つことが実証されている。血流と自律神経系は関連する。そこで PROUSION 配合クリームを使った施術で、唾液中アミラーゼに変化が見られるかを測定した。

### 【方法】

被験者は入室後 10 分安静。唾液アミラーゼモニターにより、施術前の  $\alpha$  アミラーゼ濃度を測定。その後、二重盲検の元、PROUSION 配合クリームもしくは PROUSION 非配合クリームを使い、20 分施術。施術終了 5 分経過後、2 回目の測定を行なった。

また施術はデコルテラインと前腕部のみとし、マッサージのような刺激性のあるものではなく、筋膜を緩める程度のものとした。

### 【結果】

PROUSION 配合クリーム及び PROUSION 非配合クリーム共に、施術による生体反応から  $\alpha$  アミラーゼ濃度には変化が起きた。但し、PROUSION 配合クリームと PROUSION 非配合クリームでは、明らかに PROUSION 配合クリームによる施術の方が  $\alpha$  アミラーゼ濃度の低下を示した。

### 【考察】

PROUSION 配合クリームと筋膜施術は、血流改善のみならず、自律神経系の興奮も抑制し、ストレス・コントロールに寄与することが示唆された。

キーワード：プラウシオン、ストレス・コントロール、自律神経バランス、触媒、共鳴